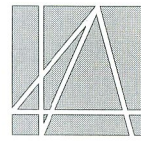


清流



No. 27

●発行 社会福祉法人 かなな会
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp



新しい季節に寄せて

保護者会会長 櫻井あつ子

また今年も万物躍動の季節を迎えました。いつもながら、木々や草花を見ておられますと、このような厳しい状況の中で命を繋いできたものだ、その生命力に驚かされます。また同時に「生きる！」と主張している夏草などの力強さには辟易するほど圧倒されてしまいます。

植物には実に様々な種類、育ち方、姿、形、色、臭いがあり、例えば大きな花東を見て、決して見映えの無い美しい形の花だけではなく、地味であったり、個性的な形のものが入り、全体のバランスが取れています。一見おかしな形や、花ではない植物を生け花に生かしたりすると、私は思わず楽しくなります。

身近なささやかなものの中に驚きや楽しみを発見していく事は、いつしか私の生きる術となりました。今の私の楽しみは、ハンディのある息子との散歩です。

私は上を見て木々を眺め、息子は下を見て好きな棒を探しているー視線は別々でも四季折々を共に過ごす至福のひとつです。息子達が好きだったロックバンドの歌の一節に

“なるべく小さな幸せとなるべく小さな不幸せ。なるべく沢山集めよう”

という詞があります。このような日々の積み重ねがささやかな幸せのエッセンスなのではないかと思う日々です。

しかし、「幸せ」と感じる事ができるのは双方の精神が安定していなければ感じ余裕がありません。日々の安定は利用者と家族の幸せを常に考えて下さっている職員のお陰と感謝しております。

拙い私の一文をご一読下さった皆様にも小さな幸せが沢山集まりますよう心より御祈り申し上げます。

今後もお支援ご協力宜しくお願いいたします。

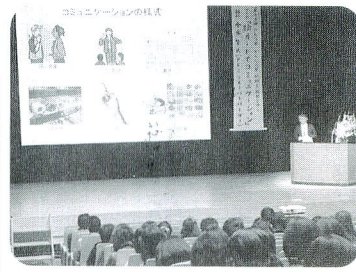


作品販売

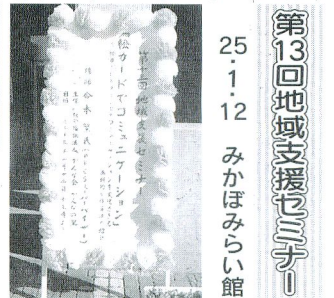


本の紹介

講師 今本 繁 先生



(絵カードでコミュニケーション)



第13回地域支援セミナー

25・1・12 みかほみらい館

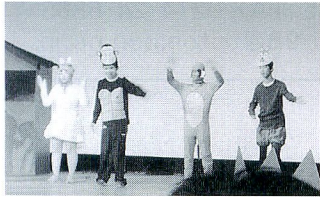
..... (かななの里 平成24年10月～平成25年3月までの主なできごと)

- | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|
| <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 育英短大生、明和短大生実習(23日) ひなまつり行事食(4日) 避難訓練(11日) 保健管理委員会(25日) 第6回かなな会役員会(26日) 新人職員研修(27日) 年度末大掃除(29日) | <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 群馬医療福祉大生実習(12日) 班別外出(13日) あすなる祭(22、23日、さんびきのこふた) 育英短大生、明和短大生実習(23日) 育英短大、明和短大生実習(23日) 冲電気アキシークインズ慰問(3日) 給食施設巡回指導(保福、17日) | <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 新年会(16日) 避難訓練(18日) 保護者新年会、五団体新年会(19日) ゆうあいフェスティバル(23、25日) もちつき、冬季帰省(〜4日) はしご乗り(市若鷹会、9日) 第13回地域支援セミナー(ら本繁氏「PECCSでコミュニケーション」(12日) | <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 多野藤岡リハビリ研究会(自閉症理解について)発表(12日) 市人権フェスティバルで展示・販売(みかほみらい館、14日) クリスマス会(ミュージック・フォール・チルドレン、ハイキング、21日) 第5回かなな会役員会(27日) もちつき、冬季帰省(〜4日) | <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 東中藤樹祭(招待(生徒会よりデジカメ2台寄贈、31日) インフルエンザ予防接種(1日) しのもめ信用金庫絵画展示(11月中、12月は藤岡公民館) 研究発表会(旅行の取組、2日) 職員旅行(長野、9、10、30、1日) 東朋会ボランティア清掃、定期健康診断(13日) 保護者会旅行(17日) | <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者グループ別旅行 太田かなやま学園保護者見学(12日) 森地区獅子舞慰問(14日) ウィルビー職員見学(16日) 第3回救急法講習会(19日) 音楽会(25日) 消防立ち入り検査(25日) |
|---|---|--|--|--|--|

かんなの里がスタートした平成11年度から県主催の芸能発表会ステージ部門に出演してきました。14年度からミュージカルに挑戦し、この2月で11回目となり、1回目から振り返ってみました。

あすなろ祭での ミュージカル

猿かに台戦



18年3月

白鳥の王子



17年3月

桃太郎



16年3月

孫悟空



15年3月

おむすびころりん



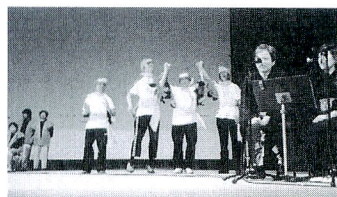
21年3月

かさじぞう



20年3月

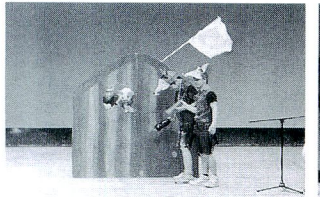
かもとりごんべえ



19年3月

ここから
6月の藤華祭に
デビュー

さんびきのこぶた



25年2月

うらしまたろう



24年3月

花咲かじいさん



23年3月

いなばの白うさぎ



22年3月

元気をもらった
2月23日(土)

施設長 島野 信美

「来年の29回のあすなろ祭は私が主役だ。」「来年もがんばるぞ！」

朝からの疲れもないのか、帰りのバスの中はすでに次の回のも話題がいっぱい。切り換えと前向きな姿勢の速さにはいつも感心させられる。次へ向けての盛り上がりエネルギーはどこから来るのか。彼らの一途なひたむきさには逆に教わるが多い。沢山の元気をありがとう。

* * *

忘れられない一日

実習生 群馬医療福祉大生

平澤 美穂

「今日のあすなろ祭では、本当に私も参加できてよかったと思う。ほんの数日間しか練習に携わっていないが、毎日昼食後に30分の練習を重ね、常に全員が練習も本番のように全力で頑張ってきた。また本番ではいつもの練習のように落ちついて、最高のミュージカルが出来たと思う。」

「練習は本番のように、本番は練習のように。」

この言葉は私が部活動で新体操をやっていた時、いつも注意されていたことなので、久し振りに思い出した。彼らには自然に出来ること、何に対しても全力でぶつかっているんだなと思うと、私たちが普段忘れてしまいがちな何かを彼らは持っている、改めてはっとさせられた。同時に、一つのことに向かって頑張る姿って、なんて格好良いのだろうと思ひ、感動した。

実習前の私は、まだ障害者について知らないことばかりで、また、劇をやるなんて難しいことが出来るのだろうかと思ってしまう。だが、出来るかどうかではなく、やるかやらないかの差なのかもしれないと感じた。

「今日のあすなろ祭では、本当に私も参加できてよかったと思う。ほんの数日間しか練習に携わっていないが、毎日昼食後に30分の練習を重ね、常に全員が練習も本番のように全力で頑張ってきた。また本番ではいつもの練習のように落ちついて、最高のミュージカルが出来たと思う。」

「帰りのバスの中では、もう来年のあすなろ祭に向けて意気投合していて、気が早いなと思いつつも、真っ直ぐ、全力で進んでゆく姿を見て、学ぶことがたくさんあった。とても良い経験となり、私にとって忘れられない一日となった。」

もくせいの

〈生活介護事業〉

生活支援員 河田 正宣

生活介護事業では、作業班と生活班に分かれて支援を行っています。

作業班では、受託作業に熱心に取り組み日々忙しくしていますが、利用者さんに合わせて戸外訓練、外食訓練、調理実習などを実施し、自立に向けた活動も行っていきます。

生活班では、機能回復訓練や入浴、食事などの生活支援を中心に行っています。余暇活動でグループ別外出や自然観察、個別外食などを行い、それぞれの利用者さんが楽しい時間を過ごしてもらえるように取り組んでいます。



〈就労移行支援・就労継続支援B型事業所〉

職業指導員 萩原 英幸

就労移行支援事業所6名、就労継続支援B型事業所14名の利用者さんが毎日授産作業や就労トレーニングに励んでおります。就労移行は3年目を迎え、昨年11月に2人目の一般就労が決まりました。また清掃トレーニングは、施設外活動に力を入れ、清掃技術を身につけると共に、人との関わりについても体験してきました。4月から就労継続支援B型へ移行し、就労班でトレーニングを継続して参ります。就労継続支援B型は作業環境を整えて個々のスキルを引き出し、工賃アップを目標に取り組んで参りました。



もくせいの平成25年3月の主なできごと

- 10月 太田金山学園保護者25名見学来所(12日)
合同就職面接会(30日)、ピエント高崎、就労移行支援事業利用者
- 11月 利用者インフルエンザ予防接種(1日)
藤岡市内食品製造会社1名正式雇用(1日)、就労移行支援事業利用者
- 12月 利用者健康診断(13日)
クリスマス会(下旬、事業毎保護者会・納会(28日)
冬季休暇(10/29~1/4)
- 1月 藤岡市内食品製造会社1名施設外支援清掃(8日)、就労移行支援事業利用者
かなな地域支援セミナー(12日、みかほみらい館)
高崎高等擁護学校生徒2名実習(15~25日)
市障害者団体新年会(19日)
節分豆まき(3日)
群馬アピリンピック2012参加2名(3日、群馬職業訓練センター)
- 2月 藤岡市内介護施設清掃トレーニング(4~28日、就労移行支援事業利用者)
藤岡消防署立ち入り検査(12日)
利用者個別面談、施設利用契約(25日)
年度末食事会(18日、高崎二ユーサンピア)
- 3月 防災訓練(19日)

マロニエ

支援職員 北野美智子

昨年の9月から10月にかけて行われたグループ別旅行では、グループ分けや行き先の選定、帰ってくる迄の行程作りなど、利用者さんに楽しんでもらえるよう何度も話し合いました。下見などをして実施しましたが、各グループとも無事に行って来られて、いつもとは違う利用者さんの表情や特性も発見出来て、有意義なものとなりました。

また1月15日に高崎のサンピアで行われた新年会には、たくさんのお話者・世話人さんに出席していただきました。毎日連絡帳でのおつきあいはありますが、実際にお目にかかって、食事をとりながらいろいろのお話を伺えたことは、両者のつながりの輪を広げられたのではないかと思います。

昨年度の保護者会の折に、保護者会・職員で何かやりませんが、早速保護者会は『AKB48』の歌と踊りの披露となったのは楽しい驚きでした。かわいらしい衣装で登場された保護者の方々、マロニエの法

被をまとって踊った職員。夜カーテンをあけた窓を鏡にして、踊りの練習をしたのも楽しい思い出です。いろいろな行事や活動を通して、利用者さんを中心にするのが輪がより広く深いものになることを願っています。

マロニエ平成24年10月、平成25年3月の主なできごと

- 10月 日帰り旅行(9日)
保護者会(5日)
- 11月 インフルエンザ予防接種(1日)
東朋会清掃ボランティア(13日)
定期健康診断(13日)
クリスマス会(21日)
もちつき(28日)
冬休み(29日~1/6)
はしご乗り(9日)
- 1月 第13回地域支援セミナー(12日)
新年会(15日)
- 2月 節分豆まき(4日)
あすなる祭(22日~23日)
- 3月 グループ別尊狩り
保護者会役員会(28日)



新年会 保護者も楽しく

ゆっあいフェスティバル(23~25日)

相談支援事業所

かなな

相談支援専門員 君野 文子

二十四年度は、藤岡市・神流町・上野村から委託を受けて行っている相談支援事業の他に、指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所として、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成、その後のモニタリングという業務に取り組んで参りました。

初めて障害福祉サービスを利用する方には、利用するまでの過程を支援するところから携わらせていただくようになり、今まではつながらなかったが少なかつた就学前や学童期のお子さんとその保護者に関わらせていただくことが増えてきました。

初めてのことで不安な気持ちで来園する利用者の方に安心して福祉サービスの利用をしていただけるような計画相談ができるよう、また、ライフサイクルで途切れることのない相談支援ができるよう、研鑽を積んでいきます。今年度もよろしくお願ひ致します。
相談場所 藤岡市障害支援センター「さらら」(☎0274-5018555)

ケアホーム

かりん

(かりん 3名定員)
(あじさい 6名定員)

世話人代表 角田 秀子

温かい春を迎え、ケアホームかりん、あじさいの利用者さんも、元気に過ごしています。

今年三月には、かりんとあじさいの合同で、防災ビデオを見ました。利用者さん八人は真剣に見入って、火災などに注意する気持ちは持てました。日中活動では、かりんの男子一名は、マルモフーズで弁当など製造しています。女子一名は、デイサービスを週三回利用し、その他一名は、マロニエで作業に取り組んでいます。あじさいの女子五名も、一名はマロニエへ、他四名はもくせい、作業を頑張っています。

土曜日はヘルパー外出の利用で、日帰り温泉や、お花見、買い物など、余暇を有意義に過ごされています。これからも、健康に注意し、ホームの仲間と仲よく、生活して行きたいと思ひます。

障害者就業・生活支援センター

トータス

主任就業支援ワーカー

亀井あゆみ

トータスは今年度で、開所から6年目を迎えました。厚生労働省と群馬県から委託を受け、企業と障害者の雇用に関わる橋渡し役として、地域で活動しております。

年々利用を希望される方も増え、4月末現在で当センターにご登録されている方が309名(身体45名・知的113名・精神134名・その他6名)とさまざまな障害や病気をもちの方からご相談を受けています。

昨年度一年間で、当センターへ登録されている障害者の方で、企業にて職場実習を体験された方が33名、企業に就職された方が40名でした。

この4月から障害者の法定雇用率が1.8%から2%へ改定となり、今年度も実習や就職を希望されている方が、一人でも多く企業へつながっていただけるよう、センターの職員一同が力を合わせて、頑張っております。

沢山の善意

あひなごころをいただきます

(平成24・10・15・25・31)
(順不同・敬称略)

戸丸美恵子、藤岡市立東中学校、金井 澁、群馬県蒭蒭協同組合、竹村折枝、東朋会、その他納涼祭関係の皆様



クリスマス会(12月)



音楽会(10月)

東朋会ボランティア清掃(11月)



新年会(1月)



沖電気慰問(2月)



飯島さん、おめでとう!

11月2日、県知的障害者

福祉協会主催の研究発表会において、「かなの里の旅行の取り組み」個々に合ったプランを考へていく」が見事最優秀に輝きました。

編集後記

先日高低差100メートルの藤棚を見ました。40年続けて手入れしてきた87才の男性と話をし、何年も先のことを見据え、続けて作業してきた結果の賜と感心するばかりでした。